



# 麻しん（はしか）拡大中 予防接種歴の確認を！

平成 31 年 2 月 27 日  
富山県感染症情報センター  
(0766-56-5431 直通)  
(0766-56-8142 細菌部)  
(0766-56-8143 ウイルス部)

## 感染症発生動向速報

(平成 31 年第 8 週分・2 月 18 日～2 月 24 日)

### 《 インフォメーション 》

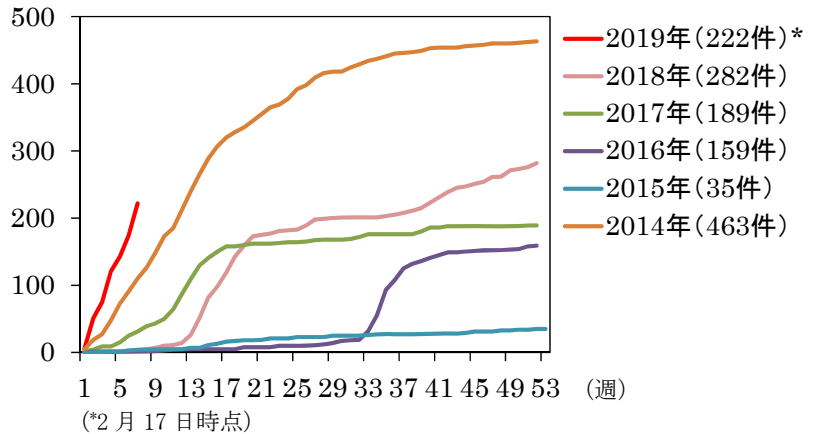
#### ●麻しん（はしか）

年明け以降、大阪府や三重県を中心に、麻しん患者の報告数が増加しています(図)。研修会、商業施設、医療機関などで、集団感染が発生しています。患者の中には、公共交通機関を利用した方も報告されており、さらに感染が拡大することが懸念されています。

麻しんウイルスは、感染力が非常に強く、飛沫感染以外に空気感染もします。典型的な経過では、感染約 10 日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れ、2～3 日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。この期間が、最も感染力の強い時期でもあります。麻しんを疑って、医療機関を受診する場合には、あらかじめ電話して、医療機関の指示に従って受診してください。

麻しんは、肺炎や脳炎などを合併することがあるため、**予防接種で予防することが大事です**。今まで麻しんにかかったことのない方や、2 回の予防接種が済んでいない方は、十分な免疫がない可能性があります。医療機関にご相談の上、ワクチン接種をお勧めします。

(件) 麻しん患者累積報告数(全国)



◎定期接種の対象者(1歳児、小学校入学前1年間の小児)は麻しん・風しん(MR)ワクチンを忘れずに

### 《 全数報告の感染症 》

五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件(40歳代、男性、B群)  
梅毒 1件(第7週診断分:40歳代、男性、早期顕症梅毒I期)

### 《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	インフルエンザ	11.27(↑)	10.69
2位	感染性胃腸炎	7.93(↑)	6.93
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.66(↑)	1.86
4位	伝染性紅斑	1.14(↑)	0.52
5位	咽頭結膜熱	0.69(↑)	0.41
6位	水痘	0.59(↑)	0.21

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます  
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成31年第8週 平成31年2月18日～平成31年2月24日）

分類	疾患	今週報告分（第8週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核							2	1	7	6	8	24
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1				1
四類感染症	E型肝炎							1					1
	A型肝炎							1					1
	レジオネラ症									1		4	5
五類感染症	アメーバ赤痢											1	1
	急性脳炎											1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1			1			1		1	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	1		2
	侵襲性肺炎球菌感染症									2	2	1	5
	梅毒									1		3	4
	播種性クリプトコックス症											1	1
	百日咳											1	1
	風しん									1		2	3
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	78 11.14	30 6.00	170 13.08	57 8.14	206 12.88	541 11.27	1,224	813	2,833	1,460	3,249	9,579
	RSウイルス感染症			1 0.13		7 0.70	8 0.28	7	15	25	3	30	80
	咽頭結膜熱	2 0.50	3 1.00	7 0.88	1 0.25	7 0.70	20 0.69	27	4	53	17	36	137
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6 1.50	5 1.67	33 4.13	15 3.75	47 4.70	106 3.66	32	33	115	57	180	417
	感染性胃腸炎	32 8.00	15 5.00	35 4.38	28 7.00	120 12.00	230 7.93	299	182	275	128	724	1,608
	水痘	6 1.50	1 0.33	3 0.38		7 0.70	17 0.59	8	5	14	7	59	93
	手足口病							8	2	8	2	43	63
	伝染性紅斑	4 1.00		22 2.75		7 0.70	33 1.14	7	3	66	45	31	152
	突発性発しん		1 0.33	3 0.38		2 0.20	6 0.21	5	8	23	10	24	70
	ヘルパンギーナ	4 1.00					4 0.14	20					20
	流行性耳下腺炎			1 0.13			1 0.03		1	1	1	2	5
	急性出血性結膜炎										1		1
	流行性角結膜炎			2 1.00			2 0.29	1	4	8	4	2	19
	細菌性髄膜炎					1 1.00	1 0.20					2	2
	マイコプラズマ肺炎								1	1			2
	インフルエンザによる入院患者（*）	1	3	3	5	7	19	34	24	48	76	80	262

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

\*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週(9月3日)～の集計です。

## インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

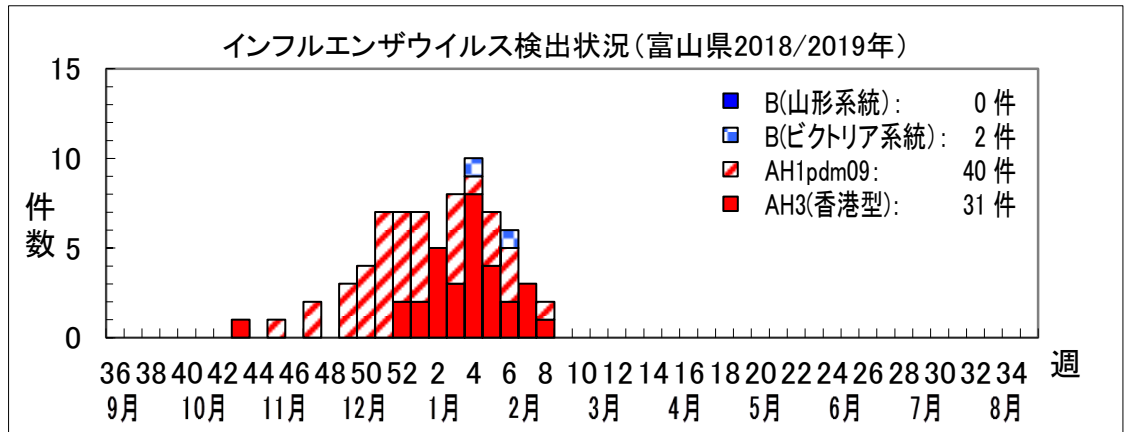
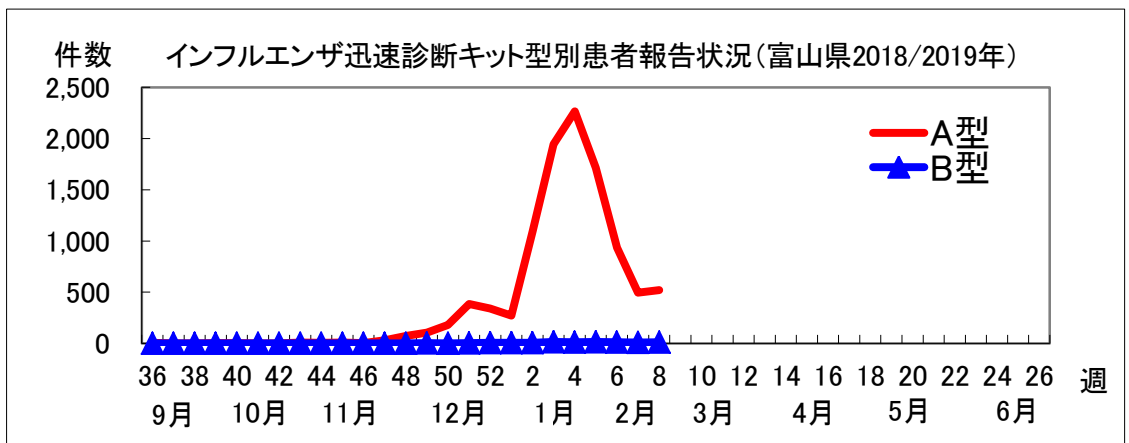
現在、下の表によると、A型が96.3%となっています。

### 第8週(2/18~2/24)：富山県 11.27人/定点

(単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	7 / 7	73	0	5	78
中部	5 / 5	30	0	0	30
高岡	13 / 13	167	1	2	170
砺波	7 / 7	57	0	0	57
富山市	15 / 16	194	9	3	206
富山県	47 / 48 <sup>※1</sup>	521	10	10	541
富山県累計(2018年36週~)		10,396	91	281	10,768

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が47か所あったことを示します。  
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



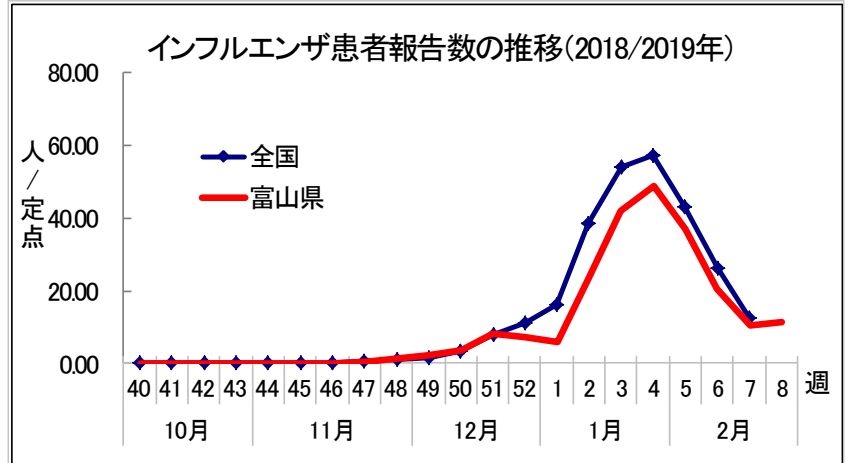


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第8週 (2/18~2/24) : 富山県 11.27 人/定点

新川 HC (11.14)、中部 HC (6.00)、高岡 HC (13.08)、砺波 HC (8.14)、富山市 HC (12.88)

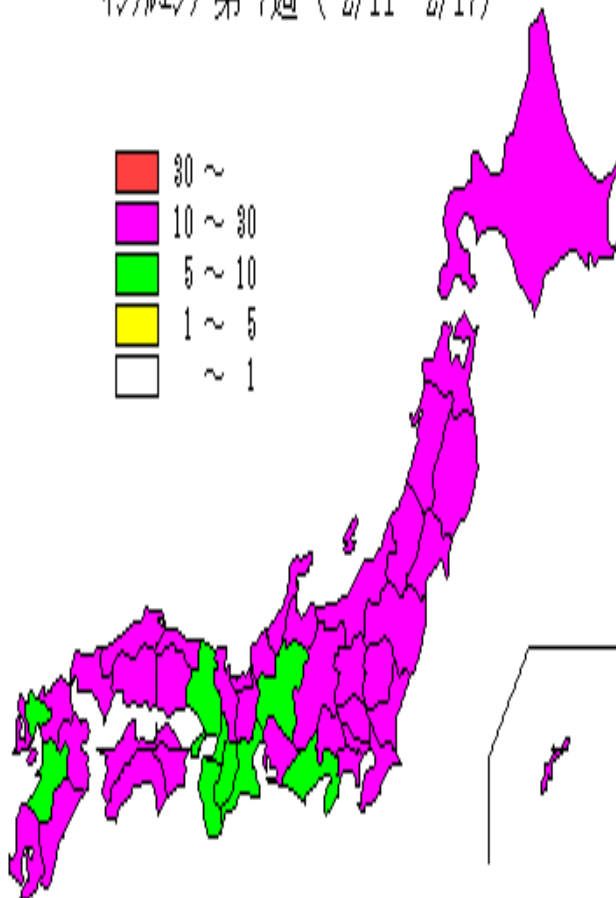
県内のインフルエンザの流行は縮小傾向にあります。また報告数が多い状態が続いています。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第7週 (2/11~2/17)

全国患者報告数は、定点医療機関あたり 12.49 人となり、前週の 26.33 人より減少しました。47 都道府県すべてで前週より減少しています。

インフルエンザ第7週 (2/11-2/17)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	15.64	滋賀県	12.55
青森県	14.80	京都府	10.37
岩手県	16.77	大阪府	9.28
宮城県	15.49	兵庫県	8.67
秋田県	14.43	奈良県	8.38
山形県	16.77	和歌山県	6.59
福島県	21.41	鳥取県	11.93
茨城県	12.24	島根県	13.66
栃木県	13.67	岡山県	12.45
群馬県	13.88	広島県	13.63
埼玉県	15.54	山口県	13.34
千葉県	12.00	徳島県	10.00
東京都	10.32	香川県	13.23
神奈川県	10.48	愛媛県	13.87
新潟県	19.43	高知県	10.42
富山県	10.69	福岡県	13.72
石川県	16.77	佐賀県	9.13
福井県	15.11	長崎県	11.84
山梨県	13.39	熊本県	8.86
長野県	15.25	大分県	19.28
岐阜県	8.78	宮崎県	17.36
静岡県	9.50	鹿児島県	10.49
愛知県	10.92	沖縄県	23.24
三重県	8.25	全国	12.49